

女、黄金、そして栄光

2008年9月16日 アシエル・イントレーター

もし神の人が自分の神の目的を成就させる場合、もし彼がイエシュア(イエス)の御国の実を実らせる場合、もし**神と親しい関係**や**人々に対して高潔**である歩みをする場合、彼は、すべての人が直面する3つの霊的な危険に気をつけなければなりません。これらの3つの危険は弟子訓練の3つの基本的なテストにも見ることができます。これらは世の基本的な「誘惑」、つまり肉的なものと悪魔的なものを表しています。それゆえ、人が若かろうと年寄りであろうとこれらは「常に存在」するのです。私たちはこれらを簡単な用語でまとめることができます。すなわち「**女(Girls)、黄金(Gold)、そして栄光(Glory)**」です。

女

ここでは契約としての結婚にある男女間の祝福された性的な喜びやロマンティックな関係を語っているわけではありません。そのような祝福は神から出て、創世記の最初に見出すことができます。ここでの「女」はまったく逆の意味があり、情欲的な考えが男を性的な罪の境界線を越えさせる誘惑、あるいはそのような考えが彼の想像を支配し、彼の神との関係を弱め破壊することです。

男性—女性の関係は神からの根源的な祝福であるため、夢中になる誘惑は同じぐらい強力なものです。神と人との関係は「霊的な結婚による結合」とも述べられています。それゆえ、ロマンティックな夢はかなり制御が難しいのは、それが神との親しい関係のために取っておかれる心の部分に触れるからです。

私たちは「愛によって存在する」、神を愛し、互いを愛するように創られました。愛と情欲の境界線は契約によってはっきりと定義されています。結婚の契約と神との契約です。

情欲の思いに対し**能動的**、かつ**攻撃的**に戦わなければなりません。単に「罪を犯さない」と決めるだけではうまくいきません。イエシュアはテアテラの教会に対してイゼベルの霊と性的不品行(**黙示録 2:20**)に「**なすがまま**」にしていることに対して非難されています。テモテはパウロ(サウロ)によって「罪を犯さない」だけでなく、若い時の情欲(**I テモテ 6:11、II テモテ 2:22**)から「**避け**」なさいと指導されています。聖である方法は、姦淫の罪から単に「犯さない」のではなく、「**遠さがる**」(**I テサロニケ 4:3**)ことにあるのです。

男は自分の妻でない(あるいは親族でない)女性と閉め切った部屋や建物に、いかなる時間、いかなる理由においても一緒にいるべきではありません。それは、「祈り」や「カウンセリング」であっても。最近のイゼベルの霊の蔓延について問題は一つの罪だけではなく、罪を犯していなくとも告発(そして訴訟)にあるのです。

黄金

神は霊的だけでなく、物質的にも祝福して下さいます。この物質的繁栄はエデンの園、アブラハム契約、トラーの祝福、イスラエルの神の御国、新しい天と地などを通して、最終的には私たち全員のための神のご意志だと悟ることができます。しかし、この祝福には誘惑が伴います。

過去数年間イスラエル政府高官の金融汚職に対する訴訟の猛攻撃が見られます。クリスチャンの活動における資金の不正使用は恥辱となっています。世界中のビジネスマンはどん欲のために信頼を失っています。この世界の資源について主が信頼おける人を探すのは困難となっています。(私は一人知っています。「D氏」は、4人の小さい子を持つ人で、何百万ドルと寄贈しますが、毎日謙遜に働き、彼の家族はつつましい生活をしています。こういうことは起こり得るのです。)

この世界の資金の使用は、いずれ世界におとずれる政府の権威を受けるための信頼度のテストなのです。「(前略)あなたはほんの小さな事にも忠実だったから、十の町を支配する者となりなさい。」ルカ 19:17 「ですから、あなたがたが不正の富に忠実でなかったら、だれがあなたがたに、まことの富を任せるでしょう。」ルカ 16:11) 財源が足りないのではなく、財産管理に対する信頼が欠けることにあります。

単に「盗まない」のでは十分ではありません。私たちは気前のよさや高潔であること両方に積極的に取り組まなければなりません。神の活動や現金寄付に資金が必要な場合、正しい受領と責任を求めなければなりません。私たちは単に法的要求に「従う」だけではなく、どのように正確に報告するか例を求めべきです。「(前略)私たちの神の宮への奉納物の銀、金、器類を計って…(中略)あなたがたは、エルサレムの主の宮の部屋で、祭司長たち、レビ人たち、イスラエルの一族の長たちの前で量るまで、寝ずの番をして守りなさい。」エズラ 8:25-29 「私たちは、この献金の取扱いについて、だれからも非難されることがないように心がけています。それは、主の御前ばかりでなく、人の前でも公明正大なことを示そうと考えているからです。」IIコリント 8:20-21)

私たちは献金する意志があるというだけでなく、人々を祝福し神の御国を造り上げるという目標に向かって資金を投入することに集中すべきです。世界に真の変化をもたらすための高額なお金を献金するには集中力の伴う努力が必要です。

栄光

サタンの反抗の根源は神の栄光に対する彼の嫉妬であり、とりわけ彼が、彼以外の者に神がご自分の栄光を分かち合いたいと思っておられることを見た時そうでした(この場合、アダム)。神は栄光につつまれており、私たちの最終的な目的は主と共に栄光を受けることです(ローマ 8:30、ヘブル 2:10、Iコリント 2:7)。この巨大な祝福はまた巨大な誘惑が伴います。

イエシュアの弟子たちは、主が、ご自分が十字架にかけられるということを説明しているその時に、誰が最も偉大であるかを議論していました(ルカ 22:24、マルコ 9:30-35)。神が私たちに求めている最大のものに至る唯一の道は謙遜です。私たちは主を待つていただくのではなく、自身をへりくだらせる必要があります。

洗礼者ヨハネは、神の活動においてどのように謙遜であり続けるかの最高の例です。彼は「あなたはメシアですか。」と尋ねられました。彼は単に「いいえ。」と答えました。「あなたはエリヤか。」とまた尋ねられ、「違います。」と答えました。—ヨハネ 1:19-21 ヨハネはただ正しいだけではなく、侵入してくるプライドの影響から容赦なく、繰り返し、執拗に自身を守りました。

イエシュアは、私たちが大いなる名誉を受ける受けないを問わず、私たち自身は単に主人のために食事を準備するしもべにすぎないと見るべきであると教えておられます。(ルカ 17:10)

情欲は惑わしです(エペソ 4:22)。お金は惑わしです(マルコ 4:19)。栄光は惑わしです(ルカ 4:6)。だまされないようしなければなりません。主のしもべとして、私たちは霊的あるいは物理的にではなく、この世の誘惑、肉的なもの、そして悪魔からの誘惑に対して目しいであり、耳しいでなければなりません。神の人でありイエシュアの弟子として、これら3つの領域、女、黄金、そして栄光について勝利の歩みを歩もうではありませんか。